

「凝視めれば、愛」を通して ～第84回日本衛生学会学術総会の報告～

衛生学 大槻剛巳

2014年5月25～27日に、岡山コンベンションセンターで、第84回日本衛生学会学術総会を会長として主催いたしました。通常、日本衛生学会の学術総会は、3月下旬に開催されるのですが、今年度は通常5月に開催される日本産業衛生学会の第87回大会を岡山大学公衆衛生学 荻野景規教授が主催される（5月21～25日）こともあって「予防医学week in OKAYAMA」として、連続開催といたしました。

さて、学会のテーマは「凝視めれば、愛」。既にこの段階で、一風変わった装いになってしまっています。さらに学内にもポスターを掲示させていただいておりましたが、通常、その地域の名所などの写真が大会のポスターに選ばれますが（連続開催の日本産業衛生学会も瀬戸大橋でした）、少女の顔写真のアップ！これらは、既に前の年の大会でも披露していましたので、きっと日本衛生学会の要職に就かれていらっしゃる先生方は、非常に不安を覚えられていたのかも知れません。



「凝視めれば、愛」。これは、それでも大槻なりに意味を込めたのでした。「衛生学というのは、文字通り「生を衛る」学術領域ということですが、対象領域によって人間や環境や、健康などを取り扱っております。そして、世の中の人々が健康の障害なく天寿を全うするようにと願う学問領域でもあらうと考えております。これらの根幹にあるものは、それは「愛」でしょう。環境への、健康への、そしてすべての人々への「愛」あればこそ「生を衛る」学問が成就していく

のだと思っております。改めて、会員の皆様、ご参加の皆様と「愛」を「凝視める」ことで、衛生学の学術の発展に寄与貢献できれば、という願いを込めてみました。ポスターやWebでご覧いただいておりますように、少女の見つめる視線の先に「愛」あればこそ、です」ということです。

今回、市民公開企画が二つありました。一つは、日本学術会議・日本衛生学会合同公開シンポジウム「東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線被ばくと健康管理」、そしてもう一つは【対談 村上龍x大槻剛巳】「衛生学と、コミュニティ」で、このオリジナル対談の様子のビデオを会期中、放映し続けるとともに、そのシナリオ（実際の対談ではこれをもとに、アドリブを入れながら会談しました）の小冊子を配布いたしました。医学医療の中で「人」を凝視める時に、その「人」の社会や生活の背景まで含めて捉えないと、ならないことが言われ出して久しいですが、そういっ



た観点には、文化や社会・経済を凝視める視点が必要で、それは村上氏のような作家・随筆家のトップランナーとして30年以上も走り続けていらっしゃる方のご意見をこそ我々は知るべきではないかと考えた企画でした（本当は、ロング・インタビューの筈が、「対談」になってしまいました）。

この小冊子とともに参加者全員に配布させていただいたのが、日本衛生学会では会長を務める前年度の大会で「次期会長講演」を行うのですが、その際に盛り上げるためにと思って製作して講演中に放映した（非公式）日本衛生学会主題歌2曲プロモーションビデオ（歌い踊る若者向けPOPな楽曲と、おじさんたち向けのバラード）をいれたDVDとともに、その音源に、大槻のオリジナル楽曲を含めたベスト盤オリジナルCDの2枚組。本当に趣味の世界ですが。

そして「凝視めれば、愛」とともに、学会が近づくにつれて「リズムとハーモニーと躍動するメロディーに溢れる学会」になればいいなあという想いも募ってきました。ですので、開会宣言は初日の夕刻、市民公開シンポジウムの会場で行ったわけですが、2日目の朝には開会セレモニーとして「プチ・コンサート」を行いました。岡山在住の美人フルート奏者さんとご一緒に大槻のピアノとのDUOで2曲演奏しました。当日は生憎の小雨模様だったのですが、雨の後には「虹の彼方に、花は咲く」という選曲も良かった印象でした。

さらには、懇親会！ここまで来れば、懇親会でも大槻自身が演奏するしかなくて、かつ、どうしても懇親会での演奏は食事・歓談をしながらなのでなんとなく演奏者との距離感が生じてしまいます。しかし今回は「懇親会場をライブハウスに変身させる！」を目標に、福山で活動するすごくまいバンドと岡山のミュージシャンと一緒に「Prof. Otsuki with the frogs feat. K15」というバンドで、アンコールを含めて5曲。日本のPOPSで誰でも知っている楽曲をベタに選んで、集まってくださった方々が一緒に歌えるように。そして演奏者もリズムアレンジなどを凝って、playerとしても楽しめるように

することにしました。そして…目論見通り！なんと懇親会場は本当にライブハウス状態で、重鎮たちもクラップ・ステップ・シンギング、中にはダンシングの方もいらっちゃって、その一体感は演奏者にも伝わって、とっても楽しく演奏できました。ちなみに、アンコールでは、丁度来日していたけれど体調のために公演ができなかったあの人の健康回復を祈ってLet It Beにいたしました。



開催セレモニーのDUO,そして懇親会のバンド演奏はYouTubeにもアップしています。また衛生学教室のWEBにもリンクをつけておりますので、是非、お楽しみください。

そうそう、もう一つ面白い企画！総合受付のロビーに「会長と一緒に写ろう」って顔出し看板を設置しました。これがまたかなり好評で！ まあ、こんなのが設置してある学会ってないですね！！

そうそう、もう一つのこだわりは、シンポジストや座長の先生への御礼の記念品。大槻の郷里の京都府福知山市の実家のおとなりのイタリアン・レストラン「サリィズキッチンマーガ」さんのお菓子「寿豆南瓜」、東京や大阪での「京都菓子展」やJAL選定の通販メニューなどにも選ばれているとっても美味しいお菓子であり、かつ、このお店では2013年夏に大槻はピアノ弾き語りライブもさせていただいたので、そういった事情も含めた大槻からのメッセージカードも添えて、お贈りさせていただきました。

あら、既に学術的な内容を記す余裕がありません。それでも終了後「気配り」と「愛」に溢れた学会でとっても心地良かったとのご感想も頂戴しました。ご協力、ご参加の皆様にご礼の気持ちをいっぱい込めて、稿を終えたいと思います。ありがとうございました。

